

第1章 調査概要

1. 調査の目的

この調査は、男女平等参画に関する区民の意識や実態を総合的に把握し、今後行う「文京区男女平等参画推進計画」の見直しや、区の今後の男女平等参画施策の推進に向けた基礎的な資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の設計

項目	内容
調査期間	令和7年9月5日（金）～9月25日（木）
調査対象	満18歳以上の区民
標本数	3,000人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
調査方法	自記式調査票による郵送配布、郵送回収及びweb調査の併用

3. 調査項目

テーマ	設問番号	調査内容
I. 家庭生活について	1	家庭における役割分担
	2	1日あたりの家事・育児・介護時間
	3	結婚や出産、男女の役割に関する考え方
II. 保育・教育について	4	保育や教育の現場で力を入れればよいと思うこと
III. 男女平等への関心と意識について	5	男女平等参画に関する用語の認知度
	6	各場面における男女の地位の平等感
IV. 就労・職場について	7	職業等
	7-1	【働いている人のみ】職場における性別による待遇の格差等
	7-2	【働いている人のみ】職場における働き方改革(勤務形態や取組)の現状と今後
	7-3	【働いていない人のみ】働いていない理由
	8	性別にかかわらず働きやすい職場環境をつくるために重要なこと
V. 女性の活躍について	9	女性が働き続けることに対する意識
	10	女性の管理職登用など参画を促すために必要な支援
VI. 家庭生活と社会生活の両立について	11	「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」の充実度
	12	社会全体としてワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進するために重要なこと
	13	育児休業、介護休業等を取得しやすくするために必要なこと
	14	育児や介護中に希望する働き方

テーマ	設問番号	調査内容
VII. 地域活動、社会活動への参画について	15	この1年間に参加した地域活動や社会活動
	15-1	【参加していない人のみ】地域活動・社会活動に参加していない理由
	16	男女や多様な性自認の方の視点を取り入れた防災対応として重要なこと
VIII. 政策決定過程への女性の参画について	17	女性の意見が行政にどの程度反映されているか
	17-1	【反映されていないと思う人のみ】反映されていない理由
	18	政策や方針決定の過程に女性があまり進出していない原因
	19	地域活動における女性リーダーを増やすために必要なこと
	20	女性リーダー増加の影響
IX. 健康について	21	女性が性や妊娠・出産に関して自分の意志で決める上で必要なこと
X. 人権問題について	22	各種ハラスメントを受けた経験の有無
	22-1	【受けたことがある人のみ】ハラスメントを受けた際の相談の有無
	22-1-1	【相談した人のみ】ハラスメントを受けた際の相談先
	22-1-2	【相談しなかった(できなかった)人のみ】ハラスメントを相談しなかった(できなかった)理由
	23	性別による役割分担に悩んだ経験の有無
	23-1	【悩んだ経験がある人のみ】性別による役割分担に悩んだ場面
	24	男性特有の負担感や生きづらさ
	25	メディアにおける性や暴力表現についての考え
	26	社会における人権問題の対応状況についての考え
XI. 性の多様性について	27	性自認や性的指向について悩んだ経験の有無
	28	身近にLGBTQ等の人はいるか
	29	身近な人からLGBTQ等であることを打ち明けられたときの対応
	29-1	【できないかもしれない又は分からないと思う人のみ】打ち明けられた場合にこれまでと同様の接し方ができない理由
	30	LGBTQ等の人たちが暮らしやすい社会になるために必要なこと
XII. 暴力の防止について	31	認知している公的なDV相談機関
	32	配偶者・パートナー、交際相手などから暴力等の行為を受けた経験又は加害経験
	32-1	【被害を受けた人のみ】暴力等を受けた際の相談先
	32-1-1	【相談しなかった人のみ】相談しなかった理由
	33	DV相談の窓口などで配慮してほしいこと
	34	DVへの対策や被害者支援として特に充実すべきもの

テーマ	設問番号	調査内容
XIII. 生活の困りごとや悩みごとの相談窓口やサービスについて	35	生活の悩みや困りごと
	36	悩みや困りごとの相談先
	36-1	【相談しなかった人のみ】相談しなかった理由
	37	生活の悩みや困りごとなどがあった時に利用したいサービス
XIV. 男女平等参画の推進施策・男女平等センターについて	38	男女平等センターの利用状況
	39	男女平等参画社会の実現のために区が力を入れるべきこと
	40	区の男女平等参画推進施策に係る意見、要望等
XV. 回答者自身について(あなたご自身について)	41	回答者自身について(あなたご自身について)

4. 回収結果

	対象者数	有効回収票数	有効回収率
今回	3,000人	886件	29.5%
前回	2,500人	1,031件	41.2%

【内訳】回答方法別の構成比

	合計	紙	web
今回	886件(100.0%)	460件(51.9%)	426件(48.1%)
前回	1,031件(100.0%)	667件(64.7%)	364件(35.3%)

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・ 各表の上段は回答件数、下段は構成比(%)を表します。
- ・ 各表において、分析で触れている特徴的な傾向については網掛けされています。
- ・ 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ間)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答(2つ以上選んでよい間)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・ 回答数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- ・ 問41①性別「その他の性自認」においては、回答者の数が少ないため、「無回答」に含めて集計をします。
- ・ 各設問において、性別や年齢など基本属性に「無回答」があるため、全体の数値と各項目の数値の合計が一致しないことがあります。

6. 他調査との比較について

この報告書では、本文中で以下の調査結果との比較を行っています。

なお、今回の調査と以下の調査とでは設問文や選択肢の一部が異なっている場合があり、また、調査手法が異なっていることから、調査結果の比較に当たっては留意が必要です。

調 査 名	内閣府 男女平等参画社会に関する世論調査
調 査 期 間	令和6年9月26日～11月3日
調 査 対 象	全国18歳以上の日本国籍を有する者
標 本 数	5,000人
調 査 方 法	自記式調査票による郵送配布、郵送回収及びweb調査の併用
有効回収票数(率)	2,673件(53.5%)

調 査 名	内閣府 男女間における暴力に関する調査
調 査 期 間	令和5年11月30日～12月24日
調 査 対 象	全国18歳以上59歳以下(令和5年11月30日現在)の男女
標 本 数	5,000人
調 査 方 法	郵送留置訪問回収法(対象者本人の希望により郵送回収又はオンライン回答を併用)
有効回収票数(率)	2,950件(59.0%)

調 査 名	東京都 男女平等参画に関する世論調査
調 査 期 間	令和7年8月22日～9月21日
調 査 対 象	東京都全域に住む満18歳以上の男女
標 本 数	4,000人
調 査 方 法	自記式調査票による郵送配布、郵送回収及びweb調査の併用
有効回収票数(率)	1,615件(40.4%)